

トリニダード・トバゴ月間情勢報告 (2024年6月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

6月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- 野党統一国民会議党（UNC）の党内選挙が実施され、パサード＝ビセッサー現党首が勝利。
- Caribbean Gas Chemical Limited（CGCL、三菱グループ出資）のアラサ社長が退任し、加藤氏（三菱ガス化学）が新社長に就任。
- エネルギー省は、2024年第1四半期の石油生産量が前年同期比11%減と発表。
- インバート財務相と米国輸出入銀行は、TTにおける海上監視とセキュリティ能力向上を目的とする総額5億米ドルの技術支援に関する覚書に署名。

2 内政

- （12日報道）保健省は、2024年に入ってからこれまでに国内で合計123件のデング熱の感染症例が報告されたと発表。
- （15日報道）エネルギー省は、2月にトバゴ島で横転した船舶から新たに油の流出が確認されたと発表。
- （16日報道）野党統一国民会議党（UNC）の党内選挙が実施され、パサード＝ビセッサー現党首が勝利。
- （18日、19日報道）レングア／インディアンウォーク選挙区及びモーン・ディアブロ／キナム選挙区の補欠選挙が実施された。2023年の地方選挙において与野党引き分けとなった前者選挙区で、与党人民国家運動党（PNM）が大差で勝利。伝統的にUNC寄りの後者選挙区では、補欠選挙の結果引き続きUNCが勝利したものの、同地方選挙時と比べ票差が縮まる結果となった。
- （30日報道）米国国務省は、2024年の人身取引（TIP）報告書において、TTを4年連続でティア2に認定。同報告書において、TT政府、特に警察や国家安全保障部門の一部高官による汚職や人身取引への関与が依然として深刻な問題として残っている旨が指摘された。

3 経済

- （2日報道）Caribbean Gas Chemical Limited（CGCL、三菱グループ出

資)のアラサ社長が退任し、加藤氏(三菱ガス化学)が新社長に就任。

●(4日報道)2月にトバゴ島で発生した石油流出事故に対する清掃活動費として、トバゴ島議会(THA)は政府に対し1.53億TTドル(約2,241万米ドル)の補助金を要請し、財務省は5,000万TTドル(732.5万米ドル)の提供を承認。

●(6日報道)TT国営エネルギー公社(National Energy Corporation)とスリナム石油公社Staatsolieは、太陽光発電の開発と天然ガス分野での協力を進める覚書を締結。

●(17日報道)エネルギー省は、2024年第1四半期の石油生産量が前年同期比11%減と発表。

●(18日報道)5月の国内インフレ率は前年同月比0.9%増を記録。

●(19日報道)インバート財務相と米国輸出入銀行は、TTにおける海上監視とセキュリティ能力向上を目的とする総額5億米ドルの技術支援に関する覚書に署名。

●(20日報道)豪経済平和研究所(IEP)は2024年版報告書において、TTにおける犯罪が経済に与える影響を購買力平価(PPP)で測定すると、年間約50億米ドルの規模となると発表。

●(22日報道)政府は、陸上及び沿岸近くのガス・石油探査鉱区の入札結果を発表。5つの鉱区における探鉱・生産ライセンスがガイアナのNABI Construction社、TTのHeritage Petroleum Company社、同Oilbelt Services社、同A&V Oil and Gas社、同Primera Oil and Gas社及び同NGC E&P Investment社の6社に割り当てられた。

●(23日報道)5月のTTにおけるアンモニア価格は1トン当たり450米ドルとなり、前月の同475米ドルから25米ドル下落。